

令和8年(2026年)3月27日

彦根城博物館開館40周年記念展覧会 シリーズ THE DAIMYO (全9回) を開催します

彦根城博物館は、令和9年(2027年)2月11日に、開館40周年を迎えます。令和8年度は、これを記念し、「シリーズ THE DAIMYO」と題し、彦根の歴史や井伊家伝来の名宝にスポットを当てた展覧会を下記のとおり9回連続で開催します。40年という年月をかけて蓄積された研究と収集の成果を、余すところなくお披露目する展覧会です。各展覧会の詳細は、開催日が近づきましたら別途、お知らせいたします。

つきましては、広報についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 シリーズの名称

彦根城博物館開館40周年記念展覧会 シリーズ THE DAIMYO

2 各展覧会の会期・内容

第1回：特別公開「井伊家の名宝 国宝 彦根屏風」

会期：令和8年4月23日(木)～5月11日(月)

内容：数ある井伊家伝来品中の白眉、彦根屏風を特別公開。華やかで緻密な賦彩、計算し尽くした構図、画中に潜む知的な見立てなど、多様な魅力を持ち、近世初期風俗画の傑作として知られています。



風俗図 (彦根屏風)

第2回：テーマ展「井伊直政と直孝

—井伊家の礎を築いた名將—

会期：令和8年5月15日(金)～6月15日(月)

内容：関ヶ原合戦や大坂の陣などで活躍し、江戸幕府の確立に大きく貢献した井伊家。その後も武門の家として將軍家を支え続けました。本展では、幕府における井伊家の地位を固めた初代直政・2代直孝の活躍を紹介します。



朱漆塗 仏二枚胴具足
(初代直政所用)

第3回：テーマ展「^{てんかいち}「天下一」の^{めんうち}面打^{めいこう}一名工^{わざ}の技^{ゆうげん} 幽玄^びの美」
会期：令和8年6月18日（木）～7月20日（月・祝）
内容：近世初期に優れた工匠に授けられた称号「天下一」。この号は能面を作る面打にも与えられ、その^{おもて}面は権力者などに尊ばれました。井伊家伝来能面から天下一を名乗った面打の作を一堂に集め、それぞれの特徴に迫りませ



^{こひめ}小姫 ^{ぜかんよしみつ}是閑吉満作

第4回：テーマ展「^{い い け れ き だ い}井伊家歴代の^{さしりょう}指料^{えら}—選ばれた^{めいとう}名刀^{すがた}の姿—」
会期：令和8年7月24日（金）～9月14日（月）
*8月20日（木）・9月10日（木）は休館

内容：武士の魂とも言われる刀剣は、大名道具の筆頭とされ、井伊家でも数多くの名刀が収集・所蔵されました。本展では、伝来刀剣のうち、歴代当主の指料に注目します。当主それぞれが選びだした名刀の姿をご覧ください。



^{たち}太刀 ^{めいくにむね}銘国宗 ^{ほうき}（伯耆）^{なおあきさしりょう}（12代直亮指料）

第5回：テーマ展「^{ひめぎみ}姫君の^{こんれいちようど}婚礼調度」
会期：令和8年9月18日（金）～10月19日（月）
内容：江戸時代、婚礼は家同士の結びつきを強める大切な行事でした。大名家では、家の威信をかけてとりわけ華やかに行われ、大揃いの婚礼調度が用意されました。本展では、井伊家伝来の華麗な婚礼調度を一堂に紹介します。



^{くろうるしぬりやつちよう}黒漆塗八丁字紋蒔絵駕籠 ^{かご}
（13代直弼正室 ^{なのおすけ}昌子 ^{まさこ}所用）

第6回：企画展「彦根藩御用絵師 佐竹永海 —谷文晁 最後の高弟—」

会 期：令和8年10月23日（金）～12月7日（月）

*11月17日（火）・18日（水）は休館

内 容：奥州会津出身の佐竹永海（1803～74）は、江戸画壇を席卷していた文人画家谷文晁の門に入り、彦根藩御用絵師に取り立てられ、井伊直亮、直弼、直憲の3代にわたって仕えました。御殿を荘厳する華麗な障屏画から、文晁ばりの静謐な文人画まで、数々の作品を通して幅広い画風と実力とを実感できる、永海展の決定版。



わしず
鷺図
さたけえいかい
佐竹永海筆



りん な せいあいばいず
林和靖愛梅図（部分）
さたけえいかい
佐竹永海筆（個人蔵）

第7回：テーマ展「井伊家の家紋—橘と井桁—」

会 期：令和8年12月10日（木）～令和9年2月8日（月）

*12月17日（木）・25日（金）～31日（木）、

1月13日（水）・14日（木）は休館

内 容：古来より家紋は、家を象徴する重要な印とされてきました。彦根藩井伊家の場合、橘と井桁の2つの家紋が知られています。武器武具、装束、調度品などの様々な品に表された、多彩な家紋の表現を紹介します。



しゅじ いげたもんはたじろし
朱地井桁紋旗印

第8回：特別公開「^{ひな ひなどうぐ}雛と雛道具」

会 期：令和9年2月11日（木・祝）～3月15日（月）

*3月4日（木）は休館

内 容：井伊家13代直弼の愛娘^{なすけ やちよ}弥千代の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した^{こ きんびな ごてんかざ}古今雛や御殿飾りなどとともに公開します。



^{やちよ ひなどうぐ}弥千代の雛道具（屏風・小袖・挟箱・三棚）

第9回：テーマ展「^{とのさま きせき}殿様の奇石コレクション—^{がんせきひょうほんたまで ぼこ}岩石標本玉手箱—」

会 期：令和9年3月19日（金）～4月20日（火）

内 容：江戸時代中期以降、薬用の動植物を研究する^{ほんぞうがく}本草学が盛んになり、諸国の産物の研究が広く行われるようになりました。本展は、各地の鉱物、化石、石器などを集めた井伊家伝来標本類をまとめて紹介する初めての企画です。



^{こうぶつとうひょうほん}鉱物等標本

3 開館時間・観覧料

(1) 開館時間

*令和8年10月1日（木）より開館時間に変更となります。

	開館時間
～令和8年9月30日（水）	午前8時30分～午後5時 (最終入館は午後4時30分)
令和8年10月1日（木）～11月30日（月）、 令和9年3月1日（月）～	午前9時～午後5時 (最終入館は午後4時30分)
令和8年12月1日（火）～令和9年2月28日（日） (冬期)	午前9時～午後4時30分 (最終入館は午後4時)

(2) 観覧料

一 般 700 円(560 円)

小・中学生 350 円(280 円) ()内は 30 名以上の団体割引料金

*常設展「“ほんもの”との出会い」も併せてご覧いただけます。

4 その他

展示内容などは変更する場合があります。詳細は当館ホームページにてお知らせします。

問い合わせ先

彦根市教育委員会事務局

彦根城博物館 学芸史料課

担当：柴崎

電話：0749-22-6100

E-mail：museum@mx.hikone.ed.jp